



秋の訪れとともに読書の季節がやってきましたね。秋は読書の楽しみを追求する良い機会ですよ！新しく届いた本の紹介を何回かに分けて図書だよりに載せたいと思います。リクエストされた本も続々と届いています。



「俺たちの箱根駅伝④⑤」 池井戸潤／文藝春秋

2年連続で本選出場を逃した崖っぷちチーム、古豪・明誠学院。卒業を控えた主将・隼斗にとって、10月の予選会が最後の挑戦だ。故障を克服し、渾身の走りを見せる彼らに襲い掛かるのは「箱根の魔物」…。一方、「箱根駅伝」中継を担う大日テレビ・スポーツ局。プロデューサーの徳重は、編成局長の黒石から降ってきた難題に頭を抱えていた。「不可能」と言われた箱根中継を成功させた伝説の男から、現代にまで伝わるテレビマンたちの苦悩と奮闘を描く。



「告白撃」 住野よる／KADOKAWA

三十歳を目前に婚約した千鶴は、自分への恋心を隠し続ける親友の響貴に告白させるため、秘密の計画を立てていた。願いはひとつ。彼が想いを引きずらず、前に進めるようになること。大人のやることとは到底思えないアイデアに呆れつつも、学生時代からの共通の友人・果凛が協力してくれることになったが、“告白大作戦”は予想外の展開を見せー。ものわかりのいい私たちを揺さぶる、こじれまくった恋と友情！！大人げない大人たちの青春“再始動”小説！



「あなたの日本語だいじょうぶ？」 金田一秀穂／暮しの手帖社

新しい時代になれば、言葉のルールも変わる。気持ちはしっかり届いていますか？Zoom、LINE、メール、Twitter…。SNS社会の言葉の伝え方。



「サード・プレイス」 ささきあり／フレーベル館

中高生が利用できる施設、サブリガーデン。そこは、家でも学校でもない、第三の居場所、「サード・プレイス」。友だちに自分の趣味を言えない瑞希、自分だけ外れていると感じるダイ、変化にとまどうびよっち、同級生の成績に追いつかない亮、4つの短編連作。



「あなたが誰かを殺した」 東野圭吾／講談社

8月の別荘地。様々な家族が夏を過ごすためにやってくる。彼らには毎年恒例のバーベキュー・パーティがあった。いつも通り開催されたその催しが、思いがけない悲劇の幕開けに。事件に巻き込まれた家族たちは、真相を自分たちの手で解き明かそうとするが…。



「スモールワールズ」 一穂みち／講談社

夫婦、親子、姉弟、先輩と後輩、知り合うはずのなかった他人…。書き下ろし掌編を加えた、七つの「小さな世界」。生きてゆくなかで抱える小さな喜び、もどかしさ、苛立ち、諦めや希望を丹念に^{すくい}集めて紡がれた物語が、読む者の心の揺らぎにも静かに寄り添ってゆく。



「ツミデミック」 一穂みち／光文社

大学を中退し、夜の街で客引きのバイトをしている優斗。ある日、バイト中に話しかけてきた女は、中学時代に死んだはずの同級生の名を名乗った。過去の記憶と目の前の女の話に戸惑う優斗は「違う羽の鳥」。調理師の職を失った恭一は、家に籠もりがち。ある日、小一の息子・隼が遊びから帰ってくると、聖徳太子の描かれた旧一万円札を持っていた。近隣に住む老人からもらったという。翌日、恭一は得意の澄まし汁を作って老人宅を訪れると「特別縁故者」。渦中の人間の有様を描き取った、心震える全6話。稀代のストーリーテラーが放つ、鮮烈なる犯罪小説集。



「ウルトラマンと学ぶ宇宙と生命体」 高水裕一／講談社

初代ウルトラマンからトリガーまで、「ウルトラマンシリーズ」で展開された名エピソードを織りまぜながら、「宇宙」の仕組みを解き明かし「生命」の謎に迫る科学図書。巻末付録として、ウルトラヒーローと怪獣のカラーアルバム付き。



「イラストでひもとく仏像のフシギ」 田中ひろみ／小学館

キャラクター(仏像の種類)、ルール(約束事)、プロダクト(造形)、チャーム(魅力)に分けて、1テーマ1見開きで、仏像の謎をひとつずつひもとく。そもそもお釈迦さまは、仏像を造るのを禁じていた！それがなぜどうして、こんなにもキャラが豊富すぎるホトケワールドになったのか？摩訶不思議のワンダーランドを、仏像イラストレーターの田中ひろみが案内します。



「仏像に会う 53の仏像の写真と物語」 西山厚／ウェッジ

仏像にはそれぞれ、作った人、守り伝えてきた人の願いが込められている。仏教美術の名品を所蔵する半蔵門ミュージアムの館長が、これまでに出会った仏像の中から、特に心に深く刻まれた53体を選び、その美しさを見事に切り取った仏像写真と共に紹介する。



「むこう岸」 安田夏菜／講談社

貧しさは、あきらめる理由になんてならない。有名進学校の授業についていけず、公立中学に転校した少年。父を事故で亡くし、母と妹と三人、生活保護を受けて暮らす少女。少年は「生活レベルが低い人」と少女に苦手意識を持ち、少女は「恵まれた家で育ってきたくせに」と少年の甘えを許せない。そんな反目する二人が直面する、「貧しさゆえに機会を奪われる」ことの不条理。中三の少女と少年は、いかにして「貧困」に立ち向かうのか。

裏面に続く→



「新解さんの謎」 赤瀬川原平／文藝春秋
辞書の中から立ち現われた謎の男。魚が好きで苦労人、女に厳しく、金はない―。「新解さん」とは、はたして何者か？三省堂「新明解国語辞典」の不思議な世界に踏み込んで、抱腹絶倒。でもちょっと真面目な言葉のジャングル探検記。



「原爆裁判 アメリカの大罪を裁いた三淵嘉子」 山我浩／毎日ワNZ
「日本最初の女性裁判所所長」「家庭裁判所の育ての親」と呼ばれる三淵嘉子。そんな彼女が裁判官として「アメリカの原爆投下は国際法違反である」と判決を下した経緯を深掘りする。「原爆投下は国際的な戦争犯罪」とする判決文の全文も掲載。



「13歳のきみと、戦国時代の「戦」の話をしよう。」 房野史典／幻冬舎
盛りまくるやつ。暴れるやつ。ピンチが大好きなやつ。でも、なんかカワイイ戦国武将。歴史の「超現代語訳」で人気の芸人が、史上最高に噛み砕いて“戦国の流れ”を解説した、面白さブッチギリの入門書。



「時をかけるゆとり」 朝井リョウ／文藝春秋
就職活動生の群像『何者』で戦後最年少の直木賞受賞者となった著者。初エッセイ集では天与の観察眼を縦横無尽に駆使し、上京の日々、バイト、夏休み、就活そして社会人生活について綴る。「ゆとり世代」が「ゆとり世代」を見た、切なさとおかしみが炸裂する23編。



「風に舞いあがるビニールシート」 森絵都／文藝春秋
才能豊かなパティシエの気まぐれに奔走させられたり、犬のボランティアのために水商売のバイトをしたり、難民を保護し支援する国連機関で夫婦の愛のあり方に苦しんだり…。自分だけの価値観を守り、お金よりも大切な何かのために懸命に生きる人々を描いた6編。あたたかくて力強い、第135回直木賞受賞作。



「つきのふね」 森絵都／角川書店
あの日、あんなことをしなければ…。心ならずも親友を裏切ってしまった中学生さくら。進路や万引きグループとの確執に悩む孤独な日々で、唯一の心の拠り所だった智さんも、静かに精神を病んでいき―。近所を騒がせる放火事件と級友の売春疑惑。先の見えない青春の闇の中を、一筋の光を求めて疾走する少女を描く、奇跡のような傑作長編。



「宇宙に花火を。」 松井尚斗／KADOKAWA
宇宙に花火をあげて、世界中の人を笑顔にしたい。そう夢見る空が友人と二人で飛び込んだYouTubeの世界。周囲からの蔑みと空回りする自分に葛藤しながら空は何をつかんでいくのか―。大人気あめんぼぱらすのおまつこと松井尚斗の初小説。



「スキップ」 北村薫／新潮社
昭和40年代の初め。わたしノ瀬真理子は17歳、千葉の海近くの女子高二年。それは九月、大雨で運動会の後半が中止になった夕方、わたしは家の八畳間で一人、レコードをかけ目を閉じた。目覚めたのは桜木真理子42歳。夫と17歳の娘がいる高校の国語教師。わたしは一体どうなってしまったのか。独りぼっちだ―でも、わたしは進む。心が体を歩ませる。顔をあげ、『わたし』を生きていく。



「本を読んだことがない32歳がはじめて本を読む」 かまど、みくのしん／大和書房
「生まれて一度も読書をしたことがない男が本を読んだら、一体どうなるんだろう」。1人の男が人生で初めて本を読む。ただそれだけの記事が爆発的に拡散され、100万人の目に留まる大ヒット記事に…。Webメディア「オモコロ」の人気シリーズを書籍化。1冊目 太宰治「走れメロス」；2冊目 有島武郎「一房の葡萄」；3冊目 芥川龍之介「杜子春」；4冊目 雨穴「本棚」



「鳥人王」 額賀濤／光文社
お笑いでは芽が出ず、身体能力ばかり評価され、番組の企画で棒高跳に挑戦することになった崖っぐちの芸人。その番組を通じて共演するのは、パリ五輪が目標のいけ好かない大学生アスリート。出会うはずのなかったふたり、それぞれの跳躍の先に広がる景色は…。



「シャーロックホームズの凱旋」 森見登美彦／中央公論新社
「天から与えられた才能はどこへ消えた？」…。舞台はヴィクトリア朝京都。洛中洛外に名を轟かせた名探偵ホームズがまさかの大スランプ。ホームズとワトソンは、この摩訶不思議な大迷宮を抜け出せるか。



「本を守ろうとする猫の話」 夏川草介／小学館
夏木林太郎は、一介の高校生である。幼い頃に両親が離婚し、小学校に上がる頃からずっと祖父との二人暮らしだ。祖父は町の片隅で「夏木書店」という小さな古書店を営んでいる。その祖父が、突然亡くなった。面識のなかった叔母に引き取られることになり本の整理をしていた林太郎は、店の奥で人間の言葉を話すトラネコと出会う。トラネコは本を守るために林太郎の力を借りたいのだという。林太郎は、書棚の奥から本をめぐる迷宮に入り込む―。



「リズム／ゴールドフィッシュ」 森絵都／KADOKAWA
中学1年生のさゆきは、いとこの真ちゃんが大好きだ。高校へ行かずに金髪頭でロックバンドの活動に打ち込む真ちゃんとずっと一緒にいたいのに、真ちゃんの両親の離婚話を耳にしてしまい…。著者デビュー作とその2年後の物語を収録。

次号に続く…